

令和8年度1学期学校評価について

「1学期学校評価アンケート」の回答結果を基に、1学期の教育活動における「成果」と、今後に向けた「課題」について分析しました。

◆生徒アンケート

■ そう思う ■ やや思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ 思わない

1 自分のペースに合わせて学習を進めることができますか。



2 授業の中で「わかった!」「できた!」と感じる瞬間がありますか。



3 学校は、安心できる場所だと感じますか。



4 友達と一緒に協力しながら活動したり、相手の考えや気持ちを受け止めたりすることができますか。



5 自分の考えや今の気持ちを、誰かに伝えたり表現したりできていますか。



6 学校生活を通じて、自分のよいところや、自分らしさを大切にできていると感じますか。



7 フィールドタイムの体験的な活動やふれあいタイムの協働的な活動に、興味を持って取り組んでいますか。



8 活動を通じて、最後までやり遂げた達成感や、「がんばった」と思える経験がありますか。



9 他の人と協力したり、助け合ったりしながら進んで活動することができますか。



「設問3」では、「そう思う」「やや思う」の合計が 93.3%でした。おおむね子どもたちにとって学校が安全で安心できる場所となっていることが分かります。一方で、100%には至っていないことから、今後さらに生徒一人ひとりにとってよりよい環境づくりを進めていく必要があります。また、「設問7」では、93.3%の生徒が肯定的に回答しており、体験的な活動や協働的な活動への興味・関心が高いことが分かりました。普段の授業から生徒が意欲的に活動する様子が見られます。

◆保護者アンケート

■ そう思う ■ やや思う ■ どちらともいえない ■ あまり思わない ■ 思わない

1 行事や日々の活動を通して、お子さんが自分自身に自信を持ったり、自分らしさを大切にできたりしていると思いますか。



2 お子さんは、ご家庭で学校の様子や自分の考えを伝えたり、表現したりする場面が増えましたか。



3 お子さんは、自分のペースで学習に取り組んでいると思いますか。



4 授業や体験学習を通して、お子さんが「わかった」「できた」など学びの楽しさを実感している様子が見られますか。



5 現在のカリキュラム(授業内容・授業時数・体験学習など)は、お子さんの成長につながるものになっていると思いますか。



6 学校は、お子さんにとって「安心できる場所」になっていると思いますか。



7 学校の支援体制や環境づくり(スタッフの支援や個別の配慮など)に安心感を持つことができますか。



8 保護者の方が、お子さんの様子や学校生活について、スタッフに気軽に相談できていますか(できる体制が整っていますか)。



「設問2」では、88.8%の方が肯定的に回答しており、転入学後、家庭での様子に変化が見られたことが分かります。また、「設問7」では 100%、「設問8」では、88.9%の方が肯定的に回答しており、学校と家庭で連携しながら、生徒の支援をする体制が整いつつあることが伺えます。今後はより緊密な支援体制づくりに向けた取組を進めます。

一方、「設問3」では肯定的な回答が 38.9%、「設問4」では 50.0%でした。この結果から、学習場面において生徒が「わかる」「できる」と実感できていないこと、また、学校からの学習に関する情報発信が十分でなかったことが考えられます。

9 転入学前と比べて、家庭の中でお子さんの変化や成長を感じることがあればご記入ください。

- ・時間はかかるが、自分と向き合って考えたり、家族と話し合えたりする場面が増えた。
- ・自分のペースで学校に行けることにより、小学校の時よりも精神的に楽になったように思う。
- ・お盆に帰省したとき、祖父が子どもの表情が柔らかくなったねと言ってくれた。
- ・何気ない会話が増えた。
- ・周りにキレやすくなっていて、物に当たっていたが落ち着いた。
- ・朝も間に合うように起床するようになった。宿題や課題等提出物への不安がなくなった。
- ・学校に行くのが楽しいと、初めて言ってくれた。
- ・毎日学校へ行くようになった。明るくなった。人と関わるようになった。行事に参加するようになった。
- ・嫌だと言いながらも、学校に行ったり、行事に参加したり、勉強したり自分なりに頑張っている。
- ・心を開いて話せる相手(先生や友だち)ができたことで、前向きになった部分(肯定感をもてるようになった部分)が出てきたように感じる。
- ・会話から上級生や異性との接し方を少しずつ学んでいるように感じる。
- ・明るく、積極的になってきている。
- ・笑顔が増えた。
- ・前の学校では、作り笑いをしたり、偽りの自分でいたりするとよく言っていました。転入して、本当の自分を少しずつ出せるようになったように感じる。
- ・表情が明るくなり、元気な様子は一目瞭然にわかります。体調の不安も少しずつ安定して、やっと中学生らしい生き生きとした生活ができています。
- ・学校に着ていく服を買いに行く、髪の長さを気にするなど自分と周囲を気にする機会が増えたように思う。お願いしたことをやってくれたり、他者に交渉したりと成長を感じる。
- ・これまでずっと、夕ご飯は自分の部屋で食べていましたが、夏休み後半から一緒に食べるようになった。

10 転入学後、生徒が学校での出来事や、友達・スタッフのことについて家庭で話された中で、特に印象に残っているエピソードや言葉があればご記入ください。

- ・新しい友達ができたと話をしてくれる。その友達が自分の好きなことの話が分かる友達だったようで、さらに学校へ行く楽しみが増えた。
- ・「分校に入ってよかった」と笑顔で話す子どものこの言葉に感極まった。
- ・流し素麺をするから、ペットボトルがたくさん必要と話し、家で探したり、準備の為にいろいろ考えたりしていた様子に驚きと嬉しく思った。
- ・陶芸のカップが自分の納得のいく作品が作れてよかった。
- ・学校で、心の底から笑った(笑い過ぎてお腹が痛くなった)と聞いた時は嬉しかった。
- ・たくさん話してくれますが、今日は楽しかった！の一言が1番嬉しい。
- ・転入前は友達をつくる気持ちはないと話していましたが、友達ができて喜んでいました。
- ・友達ができ、友達と話している時間が楽しいと言っている。
- ・一人でいたら声をかけてくれる人がいたと言っていた。気にかけてくれる仲間やスタッフがいるのだと思った。

11 今後の学校の取組において、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください。

※下線部は学校の回答です。

- ・なかなか出席することができませんが、一人ひとりに寄り添っていただけて感謝しております。
- ・お便りを出さないのも、大事なものはアプリ配信でしてくれるのがありがたいです。
- ・学校に行きやすい環境ができていますと思います。様々な行事も楽しみにしているみたいです。
- ・いつも生徒一人ひとりに寄り添っていただき、本当にありがとうございます。木かげは子どもと私たち家族の心の拠所です。
- ・早退せずに通えるよう、うまく誘っていただけるとありがたいです。
- ・保護者に寄り添い、子どもに寄り添い、とてもありがたいです。一緒に子どものことを考え、サポートしてくれる第三者がいると思えるだけで支えられています。

- ・自分のペースに合わせてもらえる環境に、親子共々とても助かっています。
- ・本人はできているや分かっていると言うけど、どの位学習が身に付いているか知りたいです。
⇒授業の様子や学習の定着状況については、10月の保護者面談の際にお伝えします。
- ・親も参加できる授業や、活動などあれば、参加して子どもと触れ合いたいです。
⇒生徒の実態を踏まえ、今後の授業参観等の際の実施を検討していきます。
- ・これから先、入学、転入学希望者がどんどん増えてくると思います。あまり少な過ぎても学校運営として難しいところもあるかと思いますが、あまり多くなり過ぎても、今の「木かげ」の雰囲気やよさが遠のいてしまうような気がしています。生徒の定員数については、どの程度を想定しているのでしょうか。
⇒定員は30名(各学年10名程度)を想定しております。人数が増加しても今の雰囲気や取組を保ちながら運営できるようにしていきたいと考えております。
- ・今後の学校運営や方針について、開校時から変更や見直し等があれば教えていただきたいです。
⇒方針や取組の見直しがありましたら、随時お知らせいたします。

「本当の自分を少しずつ出せるようになった」「毎日学校へ行くようになった」「笑顔が増えた」といった、家庭内で見られるポジティブな変化が多くあげられました。普段の様子からも1学期間の学校生活及び家庭生活を通して、前向きな姿勢になっているものと考えられます。

◆アンケートから見える成果と課題

成果

1 安心できる居場所と気持ちの安定

生徒にとって学校が心理的に安全な場所となっており、それが家庭を含めた生徒の気持ちの安定や登校する意欲の向上につながっているものと考えられます。

2 体験的な活動から広がる興味・関心の高まり

フィールドタイムなど独自の教育課程が、生徒の興味・関心を高め、意欲的に活動に取り組む姿勢につながったものと考えられます。また、学校での成功体験や達成感を家庭で共有し、保護者から認められることで自己肯定感を高めているものと考えられます。

3 他者との関わりを通じた対人関係の構築と社会性の広がり

心理的に安全な環境が土台となり、生徒が周囲の仲間と協力したり、コミュニケーションを図ったりする前向きな姿が見られました。

課題と今後の取組

1 よりよい授業づくりと学習状況の情報発信

授業における「わかる」「できる」の実感が十分ではなく、よりよい授業づくりにおいて課題が見られました。また、生徒の受け止めと保護者の認識にギャップがあり、家庭への具体的な学習状況の共有が必要であると考えられます。

⇒今後は、個別支援の充実など授業における支援の体制づくりや学習課題の精選に取り組むとともに、保護者への定期的な情報発信に取り組んでいきます。

2 「自分らしさ」を大切にする自己肯定感の育成

学校への安心感は得られている一方で、自分の気持ちを他者に伝えたり、自分自身に自信を持ったりする自己肯定感の育成において課題が見られました。

⇒今後は、ふれあいタイムの充実と教育相談や各行事の振り返りの際に、自分自身を見つめることができるための取組を検討し、実践していきます。